

1 はじめに

本演習では Visual Basic の基礎を習得する。

2 授業の説明

まずプログラムとは何か、プログラム言語とは何か、又どんな種類の言語があるかについて理解してもらおう。その後現在よく使われている言語の一つである Visual Basic を使って実際のプログラムを作成していく。最後に Word で作成した図書のデータベース検索システムを作成する。

いわゆるアプリケーションに比べて、プログラムを書くということは理論的思考回路と緻密さが要求される。最初はなじみ難いと思われるので、なるべく丁寧に且つゆっくりとすすめる。この授業は技術を身につける授業なので、出席を厳しく取る。又、座席固定性にして普段の授業態度も見えていく。

本演習科目では、ノート PC を使用する。他学科の履修希望者は規格に適合したノート PC の持参が前提となります。ノート PC の規格については、事前にドキュメンテーション学科に確認ください。

3 評価の方法

提出物と出席状況、普段の授業態度を総合的に評価する。

4 お品書き (本日の演習内容)

4.1 テキスト

以下からダウンロードできるので、ダウンロードすること。

http://ccs.tsurumi-u.ac.jp/seminar/docu/nagatsuka_lab/2005jyugyou/

パスワード: xxxxxxx (Web に資料を公開しているため隠しています)

4.2 IV Visual Basic.NET の起動・プロジェクトの作成

Visual Basic.NET(以降 VB と呼ぶ)の起動・プロジェクトの作成を行う。VB 中で使う用語(ソリューションエクスプローラ、プロパティウインドウ、フォーム、ツールボックス)について理解する。(テキスト 1 ページ~)

4.3 V プログラム作成手順

プログラムの作成手順の流れを知る。(テキスト 5 ページ)

4.4 VI 実際に簡単なアプリケーションを作成する

まずは、四則演算をしてその結果を表示させるアプリケーションを作成する。(6 ページ～)

5 出欠確認

以下を書き込み、時間内に提出すること。

- 日付
- 学籍番号
- 氏名
- 今日の成果 (どこまでできたか、テキストのページ数、章、項目番号)
- 今日の演習の難易度 (1~5)
1: 易しい、2: どちらかといえば易しい、3: 普通、4: どちらかといえば難しい、5: 難しい
- 質問・感想・要望等

備考

授業時間外で担当者に質問・連絡事項がある場合は、メールにて行うこと。なお、メールを送る際にはサブジェクト(件名)には情報基礎演習 I を必ず入れること。

宛先: egusa-y@tsurumi-u.ac.jp